



教育は
未来へつなぐ
希望の輪

2026年5月15日（金）
愛知県教育委員会
高等学校教育課
担当 横山、小笠原、伊藤
内線 3903、3904
ダイヤルイン 052-954-6787
あいちの学び推進課
担当 小野、日比野、山下
内線 3890、3891
ダイヤルイン 052-954-7429

国の高等学校教育改革促進事業に係る改革先導拠点校の申請について

愛知県教育委員会では、文部科学省が2026年2月に策定した『高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040年に向けた「N-E.X.T（ネクスト）ハイスクール構想」～』を踏まえ、今年度、「愛知県高等学校教育改革実行計画（仮称）」を策定します。

また、国は「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校教育改革促進事業」において、先導的な取組を展開し、その成果を他校へ普及させる改革先導拠点校を募集しています。県では今年度策定する実行計画をより具体的なものとするため、以下のとおり県立高等学校4校を選定し、本日、国へ申請しましたのでお知らせします。

記

1 申請する改革先導拠点校と取組内容

〈類型1〉アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援

校名 (所在地)	取組内容
岡崎工科 (岡崎市)	・DXに対応した学習内容へ刷新 ・次世代エネルギー教育の推進 ・産業界伴走型のものづくり教育の実践
安城農林 (安城市)	・次世代農業（スマート農業や6次産業化）に対応した教育の実践 ・農業教育共同実習所と連携した生徒実習、教員研修の充実 ・農家などと連携した長期インターンシップの導入

〈類型2〉理数系人材育成支援（文理横断型人材確保）

校名 (所在地)	取組内容
松蔭 (名古屋市中村区)	・文理の枠を超えた探究活動の充実 ・理系大学等と連携した文理横断型のカリキュラム開発 ・文系・理系の割合を同程度にする体制づくり ・大学・スタートアップ企業等と連携したアントレプレナーシップ教育の推進

〈類型3〉 多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保（人口減少が深刻な地域での幅広い進路希望に対応する多様な学びの実現）

校名 (所在地)	取組内容
新城 有教館 (新城市)	<ul style="list-style-type: none"> ・教科科目の充実と学習機会の保障を両立する遠隔教育 ・地域全体をフィールドに、「地域の魅力×自分の関心」を深める探究活動 ・放課後や長期休業期間における学習支援

2 事業期間

2026年度～2028年度

3 今後の予定

5月15日(金)(本日)	文部科学省へ申請
6月上旬頃	有識者による書面及びヒアリング審査
6月下旬頃	事業採択決定

【参考】

①『高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)～2040年に向けた「N-E. X. T (ネクスト) ハイスクール構想」～』【2026年2月13日文部科学省策定】

- ・ 2040年問題（少子高齢化、生産年齢人口減少、労働力需給ギャップ、理系人材の不足等）を踏まえ、強い経済・地域社会の基盤となる人材育成を実現するために、高校改革に取り組むとともに、高校から大学・大学院に至るまでの一貫した教育改革を推進
- ・ 公立高校は、地域における高校教育の普及や機会均等を図る重要な存在
- ・ いわゆる高校無償化による専門高校を含む公立高校の影響を考慮し、公立高校への支援を拡充

視点1 AIに代替されない能力や個性の伸長

視点2 我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成

視点3 一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保

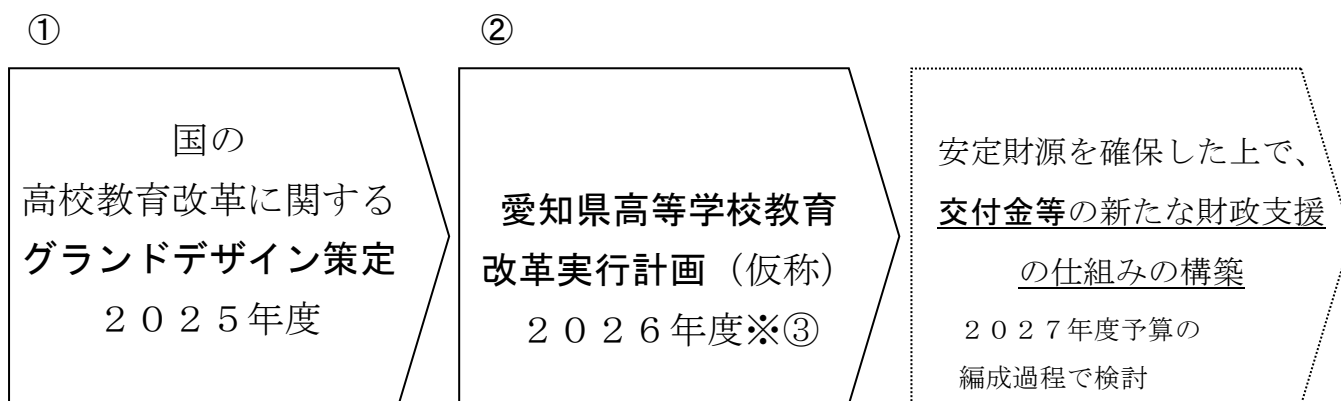
②「愛知県高等学校教育改革実行計画（仮称）」【2026年末に策定予定】

- ・ グランドデザインを踏まえ、愛知県高等学校教育改革実行計画（仮称）を策定し、2027年度から、国の新たな交付金等を活用しながら、実行計画に基づく具体的な取組を進める。

③「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校教育改革促進事業」

【2025年度 国の補正予算】

- ・ 交付金等の構築に先立ち、「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校教育改革促進事業」を活用し、2025年度中に各都道府県が基金を設置し、類型に応じた高等学校改革のパイロットケース（改革先導拠点）を選定し、取組・成果を域内の高校に普及。（都道府県実行計画に反映）



※③ 交付金等の構築に先立ち、高等学校改革のための基金（産業イノベーション人材育成等に資する高等学校教育改革促進事業）を都道府県に造成し、N-E. X. Tハイスクール構想の実現のために、パイロットケースとして先導的な学びの在り方を構築する高校（改革先導拠点）を創設